

2013年3月29日

「彦根市の地域医療を守る会」第20回 勉強会

日 時: 4月20日(土) 10:00~11:30

場 所: 彦根市立病院 医療情報センター

テーマ: 『湖東地域医療センターってどんなところ?』

講 師: 彦根市福祉保健部参事 川嶋 恒紹 氏

☆詳しくは→→→

「彦根市の地域医療を守る会」第20回勉強会

♡湖東地域医療センターって どんなところ?



内容 このセンターができて、市民にとって
何がよくなり、どう変わるのか
講師 彦根市福祉保健部参事 川嶋 恒紹氏

・・・これから団塊の世代が死を迎えます。
病院への過度の依存から脱却して、地域医療とは何かを皆さんで考え
ましょう。

記

- 1 日 時 4月20日(土) 10:00~11:30
- 2 場 所 彦根市立病院 医療情報センター
(北側入り口より入ってすぐ東側の建物)
- 3 参加費 100円 (連絡等の事務費に使用します。)

メモ、鉛筆ご持参ください。

二つの死に出会いました。
一つは25年くらいご交流のあった作家・藤本義一先生の死でした。
最後にいただいたお言葉は、「一日一ノ種ヲ播ク 義一」…深いお教えで
す。
もう一つの死は、私の母の死です。見事なまでの在宅医療・介護のモデル
ケースのように、最後まで命を輝かせてくれました。母との時間は、貴重な
豊かな心の絆が深まった宝ものでした。この体験からたくさんの学びがあり
ました。それをこの会の活動にも反映していきたいと思います。

彦根市の地域医療を守る会 代表 川村 啓子

フ
ォ
ー
ム
不
成
功
ど
こ
に
も
な
い
事
蹟
に
会
と
言
い
評
価
そ
う
け
ま
し
た
感
謝
す

里親学生支援事業として2回目の卒業生を送り出しました

2013年3月26日

平成25年3月7日(木)に平成24年度滋賀医科大学の卒業式が挙行政され、里親学生支援事業としては、2回目の卒業生(看護学科7名)を送り出しました。卒業式当日は、里親登録学生達の門出にふさわしく雲ひとつない晴れわたった空のもと、卒業生には花束を贈呈し、里親学生支援室員が卒業生を囲んで記念撮影を行いました。今回卒業する学生達は、大半が滋賀県内に就職することもあり埴田室長からは「今後は君たちも里兄(さとにい)、里姉(さとねえ)(里親の若手版?)となり、後輩たちを支援してやってほしい」と激励の言葉がありました。



以下、当日いただいた卒業生7名からメッセージです

- 滋賀のいろんな所へ、宿泊研修へ行って、地域の様子を見たり、病院をたくさん見ることができ、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- 私も里親さんと同じ助産師になりました!!
みんなと宿泊研修で一緒に話したり、医療のことを学べたりとても充実してました。ありがとうございます。
- 里親登録させて頂いて良かったです。
里親さんと出会えて本当に幸せです。ありがとうございました。
- 沖島の離島での地域医療を知れたことが一番心に残っています。
先進医療だけでなく様々な現状を抱えている地域の問題を知れてよかったです。
- 滋賀の特性がよく分かる宿泊研修で、自分がこの土地で働くにあたっての心に留めておくべきことが分かった気がします。
- 甲賀市に研修に行き、とても勉強になったことがとても印象に残っています。ありがとうございました!
- たくさんの地域を見て、滋賀の良さを知ることができました。
ありがとうございました。4月からは医大でがんばります。

「今時の学生」問題と教育方法改善に関するFD・SD研修会を開催しました。

2013年3月5日

平成25年2月14日(木)に看護学科棟の看護第1講義室において「地域里親学生支援事業」の一環であるFD・SD研修会を医療人育成教育研究センター教育方法改善部門との共催として、また、NPO法人滋賀医療人育成協力機構の後援として開催しました。

研修会では、まず、里親学生支援室長であり、社会医学講座(衛生学)の埜田准教授から「教職員が遭遇している『今時の学生』問題」として講演がありました。講演では、「里親学生支援室」が別途調査した「今時の学生」問題に関するアンケート結果を基に、教職員が学生をどのように感じているのかについてのお話がありました。

続いて、精神医学講座 山田教授から、「学生の授業態度や学生生活上のマナーの低下問題について」と題して講演がありました。講演では、先生の周囲で起こった事例や、独自に教員から聞かれた話題を基にお話があり、先生からは、果たして我々教員は学生に対し礼儀作法を伝えてきたのだろうかという問題提起がありました。

最後に、学生の授業評価において毎回高い評価を得ておられる、呼吸器内科の長尾講師(学内)から、「私の『授業への取り組み方』」と題して講演がありました。講演では、学生が「欠席して損をした。」と思うような授業を行うため、「目を引くスライドの作成」や「語呂合わせをして覚えさせる」など授業の工夫を行うことが効果的であり、学生に授業内容を理解させるため、言い方やスライドを替えて、何度も繰り返すことが重要であるとお話がありました。

終了後のディスカッションでは、「授業欠席者に資料を渡すべきか、渡さぬべきか」について意見交換があったほか、アンケート調査では、「躰は家庭の問題であるが、大学で行うことも必要である。」などの意見がありました。

なお、今回の研修会には80名を超える教職員の方々にご参加いただき、今後の学生への指導や対応において大変参考になる有意義な研修になりました。



宿泊研修における交流会のご案内

2013年3月5日

「里親」・「プチ里親」にご登録いただいている皆様方へ
滋賀県で働いておられる医師・看護師・保健師・助産師の皆様方へ

里親学生支援室では、3月18日（月）・19日（火）に
信楽等甲賀・湖南方面で宿泊研修を実施します。

3月18日の夜には、里親・プチ里親の方々や地域で勤務されて
いる医師・看護師・保健師・助産師の皆様と参加学生との交流会を
下記のとおり行いますので、是非ともご参加ください。

参加お申し込みの場合は、①第1部・第2部のいずれから
ご参加のご予定であるかと、②住所、氏名、連絡先等を電話・
FAX・メールで3月7日（木）までに里親学生支援室へお知らせ
してください。

また、ご多忙とは存じますが、開始のそれぞれ10分ほど前
までには会場にお越しくださいますよう、お願いいたします。

記

- 1、日 時 平成25年3月18日（月）
 第1部 講演・意見交換
 午後5時30分～午後6時30分
 第2部 学生報告会・懇談・会食
 午後6時30分～午後8時30分
 の予定
- 2、会 場 水口センチュリーホテル
 甲賀市水口町名坂170-1
 （TEL）0748-63-2811
 近江鉄道「水口駅」から徒歩15分
 関連URL
 <http://mi-ch.com/>

「彦根市の地域医療を守る会」 第2回フォーラムについて

『あたたかな在宅看取り』を考える

日時:平成25年3月17日(日) 午後1時30分開演 午後4時終了予定

場所:大学サテライト・プラザ彦根

彦根市大東1-7 アル・プラザ彦根6階

第一部:基調講演

「心安らかな最期を迎えるために
～医療の現場から現状報告～」

講師 松木診療所 所長 松木 明 氏

第二部:パネルディスカッション

「人生最期の幸せをもとめて～輝く命のリレー」

詳しくはチラシをご覧ください！！



3月17日(日) 午後1時30分開演
午後4時終了予定
会場:大学サテライト・プラザ彦根
彦根市大東町1-7 アル・プラザ彦根6階

参加
無料

第1部 基調講演
「心安らかな最期を迎えるために～医療の現場から現状報告～」
講師 松木診療所 所長 松木 明 氏

第2部 パネルディスカッション
「人生最期の幸せをもとめて～輝く命のリレー」
司会 宇野文彦氏 松木 明 氏
パネラー 國森康弘氏・金子隆昭氏・松木 明 氏・川嶋恒紹氏 コーディネーター 柴田恵子氏

♥病院など医療現場への「ありがとうメッセージ」を会場で受け付けますのでご協力をお願いします♥

私たちが応援しています！

- NPO 法人ささええる医療研究所 理事 村上智彦氏
- おおい町名田庄診療所 所長 中村伸一氏
- 滋賀医科大学名誉教授 香川隆一氏
- 滋賀医科大学里親学生支援会 会長 埴田和史氏
- 滋賀県健康福祉部次長 角野文彦氏
- 滋賀医療人育成協力機構 理事 西川 甫氏
- 彦根市立病院 院長 金子隆昭氏

1月31日（木）、アーバンホテル南草津において「地域里親学生支援事業」の一環である「FD研修会・意見交換会」を開催しました。

当日は、里親・プチ里親の方々の他、医学科及び看護学科後援会の役員の方にもご出席をいただき、25名を超える参加者での研修・意見交換会となりました。

初めに生前に事業へご協力いただいたプチ里親の宮田智子さまがお亡くなりになられたことの報告があり、1分間の黙とうを捧げました。

その後、埴田里親学生支援室長より「滋賀が好きな医療人をみんなで育てる」というテーマで講演を行いました。

講演では、旧プログラム「地域「里親」による医学生支援プログラム」が始まった経緯や滋賀医療人育成協力機構を立ち上げることで、将来滋賀県で働きたいと考える医学生を県全体で応援できるようになったことなど、活動内容の報告も含めての説明がありました。



その後は、和やかな雰囲気の中、出席者の自己紹介などを含め意見交換や懇談が行われ、それぞれに交流が深められ有意義な内容となりました。

学生たちからは、「もっと事業に参加することで、将来どのような方向にすすみたいかの参考にしたい」「このような機会がもてることはとても有意義であり、これからも積極的に参加していきたい」などの意見が聞かれました。

ペアで参加された里親・里子の姿もあり、より一層交流ができる良い機会となったようです。



お忙しい中、ご出席いただきました皆様、ありがとうございました。

「彦根市の地域医療を守る会」第18回 勉強会 について

日時： 3月16日(土) 10:00~11:30

場所： 彦根市立病院 医療情報センター

テーマ： 『薬の本当の話いろいろ』

薬の基本的な知識とQ&A

副作用と日本の薬の現状について

講師： 彦根市立病院薬剤部薬剤科 木村 清司科長

☆詳しくは→→→

「彦根市の地域医療を守る会」第18回勉強会

♡薬の本当の話いろいろ



内容 薬の基本的な知識とQ&A
副作用と日本の薬の現状について
講師 彦根市立病院薬剤部薬剤科 木村 清司科長



薬はコンビニでも買える時代。薬の教育が大切になってきています。薬は体にとって異物です。副作用のない薬などないし、少ないほうがよいのですが、病気のために仕方なく飲むといった認識が必要です。薬の深いお話いろいろお教えいただけること、うれしいですね。一緒に勉強しましょう。

記

- 1 日時 3月16日(土) 10:00~11:30
- 2 場所 彦根市立病院 医療情報センター
(北側入り口より入ってすぐ東側の建物)
- 3 参加費 100円 (連絡等の事務費に使います。)

メモ、鉛筆、お茶等ご持参ください。

彦根市の地域医療には、深刻な問題が山積みです。
前回の救急車の適性利用について、彦根の現状は1日の出動回数も増え、電話してから救急車が到着する時間も長くなり、病院への搬送も遅れてきます。1分1秒を大切にしないと、助かる命も助かりません。
タクシー代わりや順番が早くまわってくるとか、救急車はタダと思っていることへの意識改革をして、正しく救急車を利用していただきたいですね。みなさんのちょっとした心がけが、地域の医療を守ることとなります。この会での学びが、いかに大切かわかっていただければうれしいです。よろしく願いいたします。

彦根市の地域医療を守る会 代表 川村 啓子

彦根市の地域医療を守る会 代表 川村 啓子

【お知らせ】「里親学生支援事業」FD研修会・意見交換会のご案内

2012年12月19日

「里親」・「プチ里親」にご登録いただいている
みなさま方へ
滋賀県に勤務されている
医師・看護師・保健師・助産師のみなさま方へ

里親学生支援室では、下記のとおり「里親学生支援事業」の一環としてFD研修会・意見交換会を開催いたします。

本会は、日頃お世話になっている皆さまと里親学生支援室員や里親事業登録学生との意見交換や交流の場としております。

寒さ厳しい頃とは存じますが、事業に対するご意見等を賜りたく、お時間のご都合がございましたら、是非ともご出席くださいますようご案内いたします。

記

- 日時：平成25年1月31日（木）
午後6時から1時間30分程度
- 会場：アーバンホテル南草津 2階 サルビア（部屋は予定）
草津市南草津1-1-5
TEL.077-561-0606
（JR南草津駅「西口」前）
- 講演：滋賀医科大学 里親学生支援室長
NPO法人医療人育成協力機構 理事 埤田 和史
テーマ
「滋賀医療人育成協力機構と里親制度について」
（予定）
- その他：軽食を用意いたします。

お申込みは、12月28日（金）までに
里親学生支援室にご連絡ください。

10月27日（土）～28日（日）に滋賀医科大学の学園祭（若鮎祭）が開催され、里親学生支援室もブースを設けました。

場所は、昨年と同様に福利棟の一角を借り、今年もNPO法人滋賀医療人育成協力機構との合同でのブースとなりました。

ブースでは、「里親学生支援室だより」の拡大版や宿泊研修での写真（⇒ [平成23年度 春の宿泊研修 平成24年度 夏の宿泊研修 .pdf](#)）や、自治医科大学滋賀県同窓会「さざなみ会」とNPO法人滋賀医療人育成協力機構の共催で行われ里親登録学生も参加したワークショップ2012「家庭医 in 滋賀」の様子の掲示を行ったほか、宿泊研修におけるご講演のビデオを継続的に上映しました。

また、「学生支援ニュース」等の発行物を自由にお持ち帰りいただけるようにして、里親学生支援室の取り組みを広くPRするよう努めました。

里親の先生方にもご来場いただき良い交流の場となると共に、学生の保護者や一般の方々からは様々な質問をいただく等、より多くの方々に地域里親学生支援事業について関心を持っていただけたのではないかと思います。



ご来場のうえブースにお立ち寄りいただいた皆さま、ありがとうございました。

「彦根市の地域医療を守る会」第17回 勉強会 について

日時：11月17日(土) 10:00~11:30

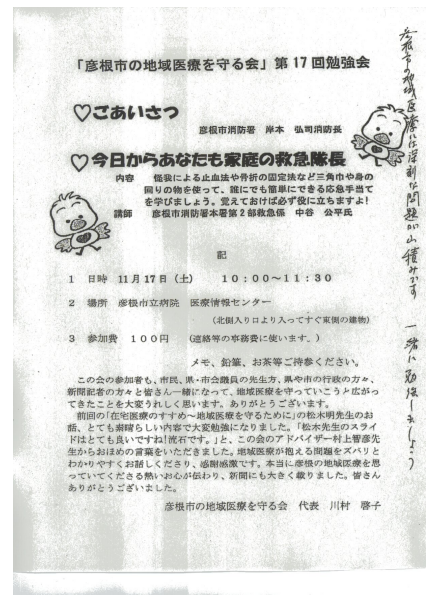
場所：彦根市立病院 医療情報センター

テーマ：「今日からあなたも家庭の救急隊長」

(内容) 怪我による止血法や骨折の固定法など身の回りのものをつかった
簡単な応急手当を学びましょう

(講師) 彦根市消防署本署第2救急係 中谷 公平氏

☆ 詳しくは



学園祭での地域「里親」ブース設置のご案内

2012年10月16日

里親学生支援室では、学園祭(若鮎祭<http://www.shiga-med.ac.jp/~wakaayu/>) 期間中に地域「里親」ブースをNPO法人滋賀医療人育成協力機構と合同で設け、事業の紹介や活動内容等がご覧いただけるビデオの放映や写真等の展示を行います。

お時間のご都合がございましたら、是非お越しく下さい。

ブース開設時間

日時：平成24年10月27日(土) 12:00~17:00
10月28日(日) 10:00~16:00

場所：滋賀医科大学 福利棟1F

👉 学祭案内チラシはこちら

「彦根市の地域医療を守る会」第16回 勉強会 について

日 時 : 平成24年10月20日(土)10:00~11:30

場 所 : 彦根市立病院 医療情報センター

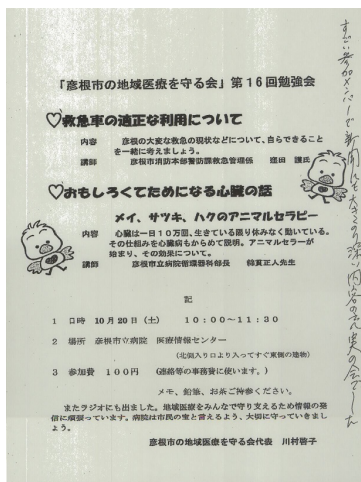
テーマ 『 救急車の適正な利用について 』

講 師 : 彦根市消防本部警防課救急管理係 窪田 謙 氏

テーマ 『 おもしろくてためになる心臓の話

メイ、サツキ、ハクのアニマルセラピー 』

講 師 : 彦根市立病院 循環器科部長 綿貫 正人 先生



永源寺等東近江方面での宿泊研修に里親登録学生が参加しました！

2012年9月14日

「永源寺等東近江方面の医療と歴史・文化を学ぶ」と題し、8月28日(火)29日(水)の2日間、NPO法人滋賀医療人育成協力機構が実施する宿泊研修に本学里親登録学生12名が参加しました。



1日目は、まず、東近江市役所を訪問し、西澤市長から東近江市の医療状況、国立病院機構滋賀病院及び東近江市立の2病院の病院改革といった東近江市の医療政策についてのお話を伺い、知識を広げたうえで、東近江市立蒲生病院を訪問しました。蒲生病院では、加藤院長の挨拶の後、徳田事務長より蒲生病院の概要や東近江市における病院の整備計画等についてのお話を伺いました。その後、休床中の病棟等、院内見学をさせていただきました。



東近江市役所の様子



蒲生病院の屋上にて

午後からは、里親であり、NPO法人滋賀医療人育成協力機構の理事でもある花戸先生の永源寺診療所を訪問させていただきました。まず、診療所内を見学させていただいた後、永源寺診療所が行っている「在宅医療」「地域包括ケア」「地域とともに」というテーマで診療所での先生の活動についてご講演いただきました。また、同診療所で研修中の研修医2年目の2名の先輩医師からも学生に向けてアドバイスをいただきました。



その後は、東近江の歴史・文化を学ぶことを目的に臨済宗永源寺派の大本山である永源寺をボランティアガイドの案内により見学しました。



1日目の最後は、宿泊場所の「クレフィール湖東」での交流会でした。交流会第1部では、フォトジャーナリストの國森康弘さんから、ごく自然な家庭での介護の様子や家族の病人へのかかわり方、そしてその中での医師の役目等を考えさせられる写真を見せていただきながら“看取り”についてご講演いただきました。引き続き、NPO法人滋賀医療人育成協力機構の副理事長である小串医院の小鳥先生からは、「医師不足・医療崩壊の危機の中で地域の医療福祉の連携により住民を支える三方よし研究会の歩みと挑戦」というテーマで東近江圏域の地域医療連携の取り組み等についてご講演いただきました。



また、交流会第2部では、西澤東近江市長を始めとする訪問先の方々・里親やプチ里親の方々等にもご参加いただき、それぞれのお立場からご意見をいただきました。学生や教職員からは本日の研修の報告や意見を発表する等、貴重な交流の場となりました。



2日目は、まず、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された「五個荘金堂の町並み」にある、近江商人屋敷を見学しました。

その後、学生達は、3班に分かれてそれぞれ「結の家デイサービスセンター」「デイサービスセンター加楽」「障害者就労継続支援 湯屋の里」に研修に伺いました。



午後からは、本研修の最後の訪問先である国立病院機構滋賀病院に伺いました。まず、本学卒業生でもある井上院長よりご挨拶をいただいた後、学生達から自己紹介を行いました。そして、来見副院長より「東近江の医療について」のお話を伺い、その後、2班に分かれて院内をご案内いただきました。その際には、新病棟の建築現場等も見せていただき、1日目に西澤東近江市長からのお話にもあった、東近江の地域医療再生に向けた取り組みが着々と進んでいることを感じ取ることができました。また、3年前に滋賀病院を訪問した教職員からは、当時に比べて医師、看護師等のスタッフが増え、閉鎖されていた病棟が再開され、活気がみなぎっているとの感想も聞かれました。最後に前田内科診療部長から「東近江市の地域特性と疾患」というテーマでご講演いただきました。ご講演では、東近江地域特有の症例をご提示いただきながら、地方の病院に勤務していても論文等を発表することにより、世界に向けて様々な情報を発信できることを学びました。



今回も、また、多くの方々にご協力いただき、学生達にとっても東近江における地域医療や歴史・文化を理解する大変有意義な研修になったようです。この場をお借りして、ご協力いただきました訪問先を初めとする皆様方に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

地域理解・交流事業「宿泊研修」日程

～永源寺等東近江方面の医療と歴史・文化を学ぶ～

● 8月28日（火）1日目

滋賀医科大学（出発）〈8:50〉



東近江市役所（講演）〈9:40～10:00〉



蒲生病院（見学）〈10:40～11:40〉



ひのや（昼食）〈12:15～13:15〉



永源寺診療所（説明・見学）〈13:30～14:30〉



永源寺（散策）〈15:00～16:00〉



クレフィール湖東〈16:30頃到着〉

（交流会・宿泊）〈17:00～〉

夜は地元の方々・里親の先生方との意見交換、交流会

8/28（火）クレフィール湖東での交流会日程

17:00～ 交流会〈第1部〉

講演/意見交換等

18:30～ 交流会〈第2部〉

学生報告会/懇談/会食

21:00～ 学生同士交流会

● 8月29日（水）2日目

クレフィール湖東（出発）〈8:30〉



天秤の里 近江商人屋敷（散策）〈9:10～10:00〉



（3班に分かれて）

結の家デイサービスセンター（説明・見学）〈10:35～11:35〉

デイサービスセンター加楽（説明・見学）〈10:45～11:45〉

障害者労働継続支援湯屋の里（説明・見学）〈11:00～11:50〉



道の駅マーガレットステーション（昼食）〈12:00～12:40〉



国立病院機構 滋賀病院（説明・見学）〈13:00～16:00〉



滋賀医科大学（解散）〈16:50頃〉



瀬田駅（希望者ありの場合）

「里親」・「プチ里親」にご登録いただいている皆様方へ
滋賀県で働いておられる医師・看護師・保健師・助産師の皆様方へ

里親学生支援室では、8月28日（火）・29日（水）に
永源寺等東近江方面で宿泊研修を実施します。

8月28日の夜には、里親・プチ里親の方々や地域で勤務されて
いる医師・看護師・保健師・助産師の皆様と参加学生との交流会を
下記のとおり行いますので、是非ともご参加ください。

参加お申し込みの場合は、①第1部・第2部のいずれから
ご参加のご予定であるかと、②住所、氏名、連絡先等を電話・
FAX・メールで8月3日（金）までに里親学生支援室へお知らせ
してください。

また、ご多忙とは存じますが、開始のそれぞれ10分ほど前
までには会場にお越しくださいますよう、お願いいたします。

記

- 1、日 時 平成24年8月28日（火）
 第1部 講演・意見交換
 午後5時00分～午後6時20分
 第2部 学生報告会・懇談・会食
 午後6時30分～午後8時30分
 の予定
- 2、会 場 クレフィール湖東
 東近江市平柳町22-3
 (TEL) 0749-45-3880
 JR東海道本線「能登川駅」から
 送迎バス30分
 (送迎バスは事前予約が必要です。
 希望される場合はお申し出ください)

関連URL

<http://www.crefeel.co.jp/hotel/access.html>

【問合せ先】

滋賀医科大学 里親学生支援室（学生課内）

TEL 077-548-2802 FAX 077-548-2803

Eメール:satooya@belle.shiga-med.ac.jp

「彦根市の地域医療を守る会」第15回 勉強会 について

テーマ『在宅医療のすすめ～地域医療を守るために～』

日 時： 9月22日(土) 10:00～11:30

場 所： 彦根市立病院 医療情報センター

講 師： 松木診療所院長 松木 明先生

「彦根市の地域医療を守る会」第15回勉強会

いよいよ登場 在宅医療の希望の星!! 松木明先生

♡ 在宅医療のすすめ
～地域医療を守るために～

内容 今、地方都市の地域医療が崩壊の危機に立たされています。その中核となるべき市立病院は、医師不足と夜間の負担の増大により、疲弊しきっています。このままでは、病院が倒れ、それに伴い地域の医療が潰れてしまいかねません。地域医療を守るため、住民一人一人ができることは何か、考えてみましょう。

講師 松木診療所院長 松木 明先生

記

- 1 日時 9月22日(土) 10:00～11:30
- 2 場所 彦根市立病院 医療情報センター
(北側入り口より入ってすぐ東側の建物)
- 3 参加費 100円 (連絡等の事務費に使います。)

メモ、鉛筆、お茶ご持参ください。

テレビやラジオにも出ました。皆様の熱い応援に感謝しています。病院への「ありがとうメッセージ」も、心温まる感動のメッセージが集まっています。ありがとうございます。

彦根市の地域医療を守る会代表 川村啓子

県議の先生、市議、県庁行政みんが学研会合の先生、改革していきな

里親登録学生と里親学生支援室員との懇談会を開催しました！

2012年6月15日

6月12日（火）の昼休みに、里親登録学生（新規登録学生10名のうち9名を含む）と里親学生支援室員との懇談会を、CMC（クリエイティブモチベーションセンター）ホールで開催しました。

まず、初めに埤田室長より、昨年度より本里親学生支援事業はNPO法人滋賀医療人育成協力機構との連携のもと成り立っていることの説明がありました。その後、室員及び学生の自己紹介が行われ、次に、今年度の事業計画について具体的な説明がありました。その説明の中で、学生の希望を組み込んだ事業にしていくために意見が欲しいとの呼びかけがありました。

また、夏期に予定されている東近江圏での宿泊研修については、参加費用や実施日の希望を学生からアンケートしたり、実施内容について、女子学生の参加が多いことから、女性医師の里親の話を聞ける機会を設けてみてはどうかとの提案があるなど、具体的な方向性を見出すことのできた会となりました。



平成24年度の主な事業

里親学生支援室 今後の行事予定

- 1) 学生と里親のマッチング（新入生、他2名）
- 2) 県内出身自治医科大学同窓会主催のワークショップへの参加
(主に医3年、4年対象)
【 報告会 8月25日（土） ピアザ淡海で開催 】
- 3) 夏期宿泊研修【8月20～22日、27～31日（内2日間）】
(東近江地域で実施予定)
- [4) 教職員対象のFD研修会【秋】]
- 5) 里親・プチ里親とのFD研修会・意見交換会【1月】
- 6) 春期宿泊研修【3月】（甲賀地域で実施予定）



きました

平成23年度卒業の里親登録学生のからのメッセージが届きました

看護学科 Oさんからのメッセージ

働き始めて1ヶ月がすぎ、学生の時とは違い、自分の言葉や行動の一つ一つに責任が伴い、気が休まらない日も多いですが、その分たくさんの学びや充実感を得ています。実際、働いて感じたのはこういう時どういう言葉をかけてあげるのがベストなのだろうか、あの言葉かけで良かったのかなと感じる場面がよくあります。里親学生支援室の行事では実際に患者さんとお話しし、意見や考えを聞ける機会が多いと思います。意外に気づかないがこういう言葉を使われると信頼しがたいとか、実際に不安を打ち明けたとき、この人に打ち明けて良かったと思えるような対処はどんなものだったのか等ということは医療者になってからはなかなか聞けないと思います。たくさんの人と関わる機会を持たせていただいていると思うので、学生だから聞けることを今のうちにいっぱい聞いて、自分が働いた時に生かしていってほしいなと思います。

看護学科 Kさんからのメッセージ

里親登録学生のみなさん
私は2年間という短い間でしたが、里親の先生からたくさん
のことを学びました。
里親の先生を臨床家・専門家としての側面だけでなく、人生の先輩として頼ることも多くありました。
人間関係が希薄な現代において、このような機会は大変貴重だと思えます。
特に、私たちは医療を施す対人専門職種です。
人間性を磨いて優しい気持ちで患者さんに接することができる温かい医療者が、求められていると思えます。
くじけそうなこともたくさんあると思いますが、これからはがんばってください。

看護学科 Yさんからのメッセージ

里親を終えて
私は看護編入で里親に入ったので二年間の関わりしかありませんでした。一回だけ宿泊を通した研修にも参加させてもらいました。滋賀の魅力が十分に伝わり、就職する際は滋賀に就職したいと思えるようになりました。里親の人とは一度だけお会いし、救急看護の必要性や役割を丁寧に教えて頂きました。二年間ですが里親に入って良かったと思っています。機会があれば私自身も里親になりたいと思いました。滋賀に興味のある方、ない方でも里親に入れば楽しいイベントが待っていると思えます。

プチ里親の方からのお知らせです

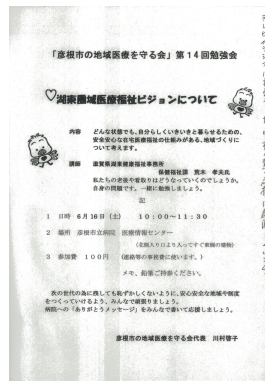
2012年5月17日

「彦根市の地域医療を守る会」第14回 勉強会 について

テーマ『湖東圏域医療福祉ビジョンについて』

日時： 6月16日(土) 10:00～11:30

場所： 彦根市立病院 医療情報センター



2012年度 事業計画

2012年5月16日

- 4月～3月 里親学生支援室において本取組の実務を行う。
- 4月～5月 新入生に対して、参加登録の募集を行う。
- 5月 参加登録希望学生の属性や希望事項等の調査を行う。
- 6月 学生と「里親」をマッチングさせる。
- 6月 里親学生支援室員と学生との懇談会を行う。
- 8月 県内出身自治医大同窓会主催のワークショップに参加する。
- 8(9)月 夏期宿泊研修を実施する。
(滋賀医療人育成協力機構と協同で実施)
- 10月 若鮎祭(学園祭)開催時に滋賀医療人育成協力機構と協同『地域「里親」ブース』を開設し、取組事業のPRを行う。
里親、プチ里親と学生との交流の機会ともする。
- 10月～11月 教職員向けのFD研修会を開催する。
(滋賀医療人育成協力機構と共同で開催)
- 11月 編入生に対して、参加登録の募集を行う。
- 1月 「里親」「プチ里親」向けの
FD研修会・意見交換会を開催する。
(滋賀医療人育成協力機構と協同で開催)
- 3月 春期宿泊研修を実施する。
(滋賀医療人育成協力機構と協同で実施)
- 3月 次年度の計画をたてる。

「余呉・長浜等湖北方面の医療と歴史・文化を学ぶ」と題し、3月22日（木）～23日（金）の2日間、NPO法人滋賀医療人育成協力機構が実施する宿泊研修に本学里親登録学生6名が参加しました。

1日目の午前中は、長浜市内をボランティアガイドの案内により、「長浜御坊」の名で呼ばれている大通寺や長浜曳山まつりの歴史・文化が分かる曳山博物館を見学しました。昼食には、長浜名物「のっぺいうどん」を食し、食後の約1時間、各自、思い思いに黒壁スクエア等、長浜市内を観光しました。



長浜御坊 大通寺



長浜市内見学の様子



黒壁スクエアの街並

午後からは、長浜赤十字病院を訪問し、濱上病院長より挨拶を受けた後、東日本大震災時における石巻赤十字病院の活動記録のDVDを視聴し、病院の施設を見学させていただきました。



長浜赤十字病院での様子

次に向かったのは、市立長浜病院です。市立長浜病院でも、多賀副院長から挨拶を受けた後、現在、市立長浜病院で勤務されている滋賀医科大学の3名の卒業生から、本人らの経験談に

基づく、様々なアドバイスをいただきました。また、その後は、院内も見学させていただきました。



市立長浜病院での様子

宿泊先の「長浜ロイヤルホテル」での交流会第一部では、長浜市立湖北病院の田中副院長より「湖北病院の地域医療」というテーマでご講演をいただきました。

また、交流会第二部では、訪問先の市立長浜病院に勤務されている滋賀医科大学の卒業生の先生、長浜市役所やプチ里親など11名の方々にご参加いただき、それぞれの立場から貴重なご意見をいただきました。学生からは、本日の研修での感想や医師又は看護師を目指すきっかけなどの話があり、今回、参加学生が少なかった分、より密度の濃い意見交換・交流の場がもてたようです。



交流会1部でのご講演 質疑応答の様子



交流会2部にご参加の皆さま

2日目は、あいにくの雨でしたが、午前中は、江戸中期の儒学者である雨森芳洲の生涯をたどり、思想や業績を顕彰するとともに、東アジアとの交流と友好をめざす拠点である東アジア交流ハウス雨森芳洲庵を見学しました。次に、日本全国に七体ある国宝十一面観音の中でも最も美しいとされる渡岸寺観音堂の十一面観音を拝観し、その後、古くから眼の仏様、延命息災

の仏様として信仰を集めてきたお地蔵様が奉ってある木之本地蔵院に参拝しました。



雨森芳洲庵での様子



木之本地蔵院

そして、長浜市立湖北病院を訪問し、田中副院長の案内で病院内や併設する介護老人保健施設「湖北やすらぎの里」など4つの施設を見学し、それぞれの施設の果たす役割について、分かりやすく説明していただきました。

午後からは、長浜市立湖北病院杉野診療所への出張診療に同行させていただき、診察現場を見学させていただいた後、地域住民の方々や長浜市議会議員の方に地域の現状をうかがいました。学生からは、地域住民の方々から、直接、医療を求める切実な声などの地域医療の現実をお伺いすることができ、普通の大学での学習では得られない貴重な機会を得て、将来について考えていくためのヒントを得たとの声がありました。



長浜市立湖北病院見学の様子



杉野診療所での診療見学 地域の方との交流の様子

今回の研修も、また多くの方々にご協力いただき、学生達にとっても大変有意義な研修になったようです。この場をお借りして、訪問先を初めとする皆様方に厚くお礼申し上げます。

なお、長浜市立湖北病院では、京都新聞社及び中日新聞社の同行取材がありました。

2011年度 活動実績

2012年4月16日

- 平成23年 4月 1日 里親学生支援室（継続設置）における新年度業務開始
- 平成23年4月7日～5月上旬
1年生に対し、新入生オリエンテーションや医学 概論 I などの時間を利用してプロジェクトの説明パンフレットを配布して参加学生を募集
- 平成23年 4月15日 里親学生支援室だより No. 6 発行
- 平成23年 5月10日 里親バンク登録の「里親」と参加学生とのマッチング決定（年度初回）
- 平成23年 5月19日 里親バンク登録の「里親」と参加学生とのマッチング決定
- 平成23年 5月31日 里親学生支援室会議開催
- 平成23年 6月21日 里親学生支援室員と参加希望学生との懇談を実施 支援対象学生の確定・支援内容の具体的説明・学 の属性や希望事項等の調査
- 平成23年 7月 6日 里親バンク登録の「里親」と参加学生とのマッチング決定
- 平成23年 8月27日 里親登録学生が県内出身自治医科大学同窓会主催ワークショップに参加
- 平成23年 8月30日～31日
宿泊研修「高島・朽木等湖西方面の
医療と歴史・文化を学ぶ」への参加
（滋賀医療人育成協力機構との協同で実施）
- 平成23年 9月20日 里親学生支援室だより No. 7 発行
- 平成23年10月26日 里親学生支援室会議開催
- 平成23年10月29日～30日
若鮎祭（学園祭）開催時に『地域「里親」ブース』を
開設（滋賀医療人育成協力機構との協同で開設）
- 平成23年12月 編入生に対して、参加登録の募集を行う
- 平成24年 1月 『地域「里親」による医学生支援プログラム』
報告書 発行

平成24年 1月26日 里親バンク登録の「里親」と参加学生との
マッチング決定

平成24年 2月22日 里親学生支援室会議開催

平成24年 3月22日～23日
宿泊研修「余呉・長浜等湖北方面の
医療と歴史・文化を学ぶ」への参加
(滋賀医療人育成協力機構との協同で実施)